

日本語履修高校生招へいプログラム)
(対象国：ロシア連邦，テーマ：日本語、日本文化) の記録

1. プログラム概要

(テーマ：日本語、日本文化)

ロシアより日本語を学ぶ高校生および引率教師総勢 50 名が、11 月 1 日～11 月 8 日の 7 泊 8 日の日程で来日し、日本文化と日本語をテーマとしたプログラムに参加しました。一行は、都内でロシア語を学習する高校を訪問し、相互に学校や町について発表しあい、交流会では一緒に合唱し、日本語講座に参加しました。翌日は日本人高校生とグループごとに都内を視察しました。日本語を使ってコミュニケーションをとり、同世代の日本人高校生から日本文化や伝統について説明を受けるなど、今後につながる交友関係を築きました。訪問プログラム後半は青森県を訪問し、ロシア語を学ぶ高校生との交流したほか、茶道、書道、空手など、日本文化を体験しました。また三内丸山遺跡で日本の歴史に触れました。一行は、プログラム中、日本人高校生と積極的に交流し、SNS のアカウントを交換してすぐに交流を始めました。対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加人数】

50 名 (高校生 45 名, 引率教師 5 名)

【訪問地】

東京都, 青森県

2. 日程

- 11 月 1 日 (火曜日) 成田国際空港より入国, 来日時オリエンテーション
- 11 月 2 日 (水曜日) 都内にて江戸東京博物館視察
早稲田大学高等学院訪問。実用日本語講座, 校内見学, 日露高校生による相互のプレゼンテーション, 交流会など
- 11 月 3 日 (木曜日) 日本人高校生との都内視察
- 11 月 4 日 (金曜日) 浅草視察
都立北園高等学校訪問。授業体験, 日露高校生による相互のプレゼンテーション, 交流会など
- 11 月 5 日 (土曜日) 新幹線で青森へ移動。三内丸山遺跡視察
- 11 月 6 日 (日曜日) 奥入瀬溪流, 十和田湖, ねぶたの家ワ・ラッセねぶた視察
- 11 月 7 日 (月曜日) 青森県立青森南高等学校訪問, 書道, 茶道, 空手体験, 交流会
東京へ移動
報告会 (訪日成果・帰国後の活動計画発表)
- 11 月 8 日 (火曜日) 成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真



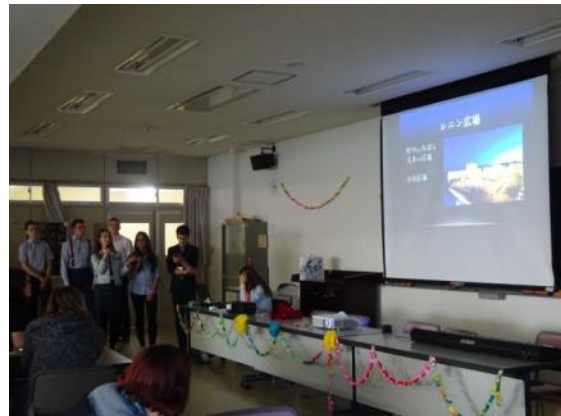
11月2日 早稲田大学高等学院訪問



11月3日 日本人高校生との都内視察



11月4日
都立北園高等学校訪問/三味線体験



11月4日
都立北園高等学校訪問/街の紹介



11月5日 青森県三内丸山遺跡視察



11月6日 ワ・ラッセねぷた視察

	
11月7日 青森県立青森南高等学校訪問/茶道体験	11月7日 青森県立青森南高等学校訪問/書道体験
	
11月7日 青森県立青森南高等学校訪問/空手体験	11月7日 青森県立青森南高等学校訪問/交流会

4. 参加者の感想（ロシア人）

◆ ロシア 高校11年生

日本、日本文化、日本の生活の特色をより身近に知る機会をいただき、どうもありがとうございます。日本人高校生と一緒に過ごした時間は忘れられません。全てとても気に入りました。日本と日本人、日本文化、日本の自然がすっかり好きになりました。帰りたくない。また日本に来たい。

◆ ロシア 高校11年生

このプログラムに参加できてとても嬉しい。日本には前から行きたいと思っていました。とても充実した面白いプログラムでした。美しい自然、山々があり、夕焼けの富士山がとても気に入りました。今後の自分の人生を日本と結びつけることになるかもしれないと思いました。今後も日本語の勉強を続けていきたいです。

◆ ロシア 高校11年生

このようなプログラムが実施されていてとても嬉しい。これからもたくさんの人たちが参加できると良いと思います。東京はすごい街。知り合いがたくさんできたの

で、その人たちとこれからも交流を続けていきます。

5. 受入れ側の感想（日本人）

◆ ロシア語を第二外国語で学ぶ高校3年生

私は高校1年からロシア語の勉強を始めて今年で3年目になりますが、生のロシア人と話したのは初めてだったので、今までは勉強としての言語だったロシア語がコミュニケーションの手段として使えたことに、とても感動しました。また、バスの座席でロシア人と2人で座っている時間はとても密な時間で、様々な会話ができ、数人のロシア人と友人になることができました。文字の書き方から始めたロシア語で友達ができたという経験は私にとって忘れられないものになりました。

◆ ロシア語を第二外国語で学ぶ高校3年生

私は外国人との交流会に実際参加するというのは初めてで、とても緊張しました。しかし、実際に参加すると当然のように楽しい時間を過ごすことができました。学校受け入れに関しては、そのためにいろいろと準備をしたため、終わった今は充実感でいっぱいです。特に「使える日本語講座！」で紹介した「やばい」という言葉を何人かのロシア人が使っているのを聞いて、とても嬉しかったです。都内視察ではロシア人の高校生たちがあらかじめ日本のことをしてくれていて、特に印象的だったのは、日本のアパレルショップに行きたいという子が多かったことです。彼らに日本の洋服の企業が浸透していることに私には大きな驚きでした。このような交流ができたことで、今後の同様の活動に対する自信やモチベーションにつながりました。

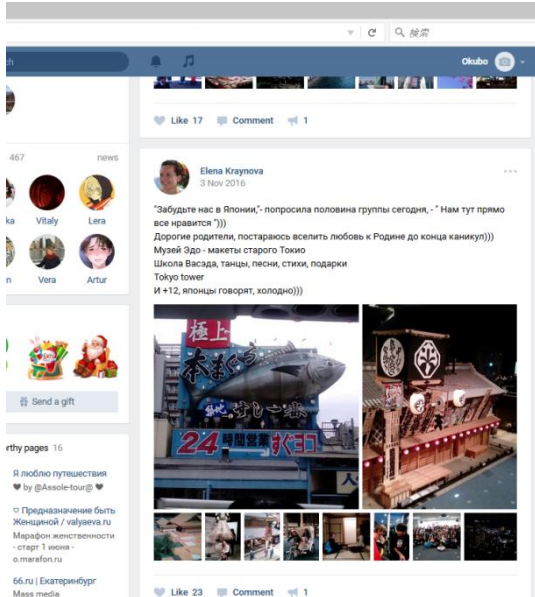
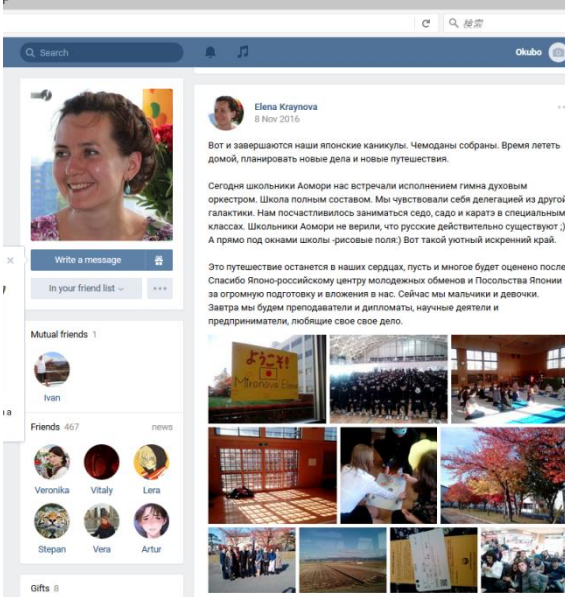
◆ ロシア語を第二外国語で学ぶ高校3年生

学校での受け入れでは、プレゼンをしたり、ロシア語や日本語で歌ったりしました。皆で歌った「栄光の架け橋」では、ギターで伴奏してくれました。そのあとの交流の時にロシアの子達がギターで曲を弾いてくれました。国は違うのに、好きなことが同じというのはすごいことだと思いました。またロシアの人たちは、日本のアニメや漫画などの文化をすごく好いてくれていて、誇るべき日本の文化だなと感じました。ロシア語をもっと上達させて日本の文化を発信していけるようになりたいと思いました。

◆ ロシア語を第二外国語で学ぶ高校2年生

交流会ではとても楽しい時間を過ごすことができました。今まで日本を出たことがない私にとっては、同世代の外国の方と交流することはとても良い刺激になりました。異文化に触れることは、自分の中で新たな感性が育まれていくような、そんな感じがしました。

6. 参加者の対外発信

	
2016 年 11 月 3 日 参加者の SNS に掲載 東京の魅力を伝えた。	2016 年 11 月 8 日 参加者の SNS に掲載 青森の自然の美しさ, ねぶた祭りの魅力, 青森南高等学校訪問時の様子を伝えた。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

◆日本についてのステレオタイプを破壊する

知人や友人を対象に SNS への情報の掲載, 日本に対する興味を呼び起こす, 文化に関する情報を見つける, 学んだものを実際に確かめる。

◆日本文化と日本語の普及

できるだけ多くの人々に日本語・日本文化を学んでもらうために SNS 及び実際の交友関係を通じて実行する。プログラム及び日本から受けた印象のすべてをネットで伝えることは不可能だとは思いますが, それでも全体的なイメージを伝えるため, インターネットに記事を掲載していく。

◆日本に住む

貯金して, 大学か仕事をここで見つけて, 移り住む日本に移り住む。

◆私は日本に両親を連れてきたい

◆面白い日本

日本及び日本語に対する興味を維持する。

◆日本語と日本文化の学習（将来日本で勉強するため）

◆日本人と自由に交流するために日本語を習得する, 文化を知る, 将来の職業として経済分野で日本と協力する, 訪問した高校の生徒たちと交流する。

◆温かい関係の確立

ロシア人の日本に対する関心を維持し, 知識を広げる。SNS に情報を掲載する。実際に話して聞かせる。日本をテーマにした作品を作る。

◆日出づる処の国

私と露日協会タンボフ支部で, ロシアの高校生に日本に対する興味を引き起こすため

タンボフで「日本映画の日」を開催する。テレビ番組への参加。

◆奇跡の国

日本とロシアをつなぐ橋となり、日本に住んで働き、新しい世代に自分の国を紹介する。帰国後、5 年間をめどにロシアと日本の青年で協力して実施。同年代の人たちを勧誘する。日本語を完璧に習得する。日本で友人を作り、一緒に働く。両国の友情の架け橋となる。

◆ウラルと日本の青年交流

ウラルと日本の青年がお互いの良いところを学ぶことを目的に、14 歳から 30 歳までのウラルと日本の青年を対象に、エカテリンブルグ・情報文化センター「日本」の職員、学生、アシスタント一同で次のことを実施：

- ・青年キャンプ（毎年）
- ・ホームステイプログラム
- ・スカイプでの対話
- ・当方の教師たちの日本留学の組織（言語と技能）

（注：回答者は同行の日本センター長）

◆同年代の人たちに日本文化（伝統文化もポップカルチャーも）に興味を持ってもらう。

私の知人及び SNS の力を借りて日本全般に対する関心を高める。

自分一人ではなく私と共に3人が実行にあたり、またこれにVkontakte, Instagram等SNSが加わる。対象者は今のところ知人だが、将来的には不特定多数の読者の関心を高めたい。SNSに情報を掲載する。知人を日本語学習に勧誘する。